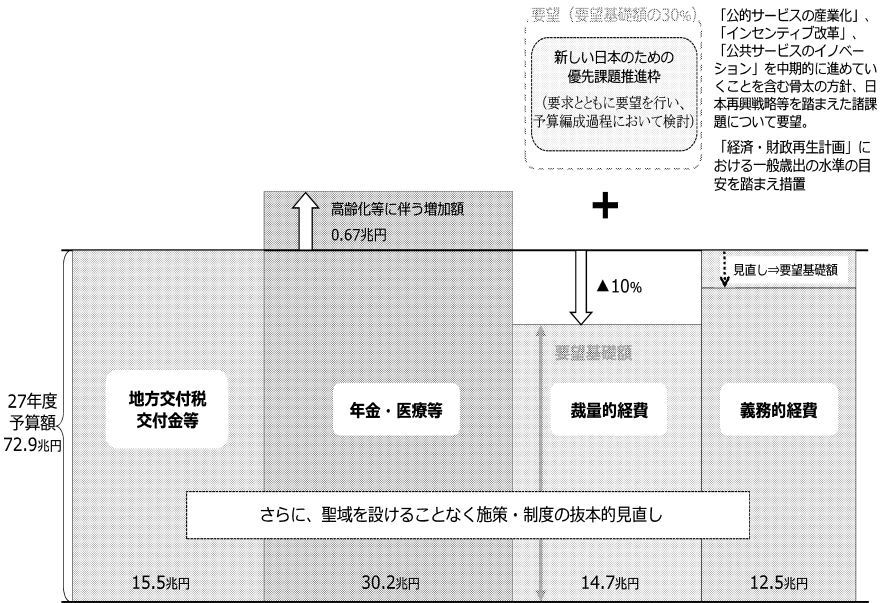


平成28年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について



※1 地方交付税交付金等については「経済・財政再生計画」との整合性に留意しつつ要求。義務的経費については、参議院議員通常選挙に必要な経費の増等の特殊要因について加減算。東日本大震災復興特別会計への繰入は、「平成28年度以降5年間を含む復興期間の復旧・復興事業の規模と財源について」に従って所要額を要求。
※2 消費税率引上げと併せ行う充実等その他社会保障・税一体改革と一体的な経費については、社会保障改革プログラム法28条に規定する消費税・地方消費税の収入及び社会保障の給付の重点化・制度の効率化の動向等を踏まえ、予算編成過程で検討。

に特化した防災・安全交付金により、以下の取組に対して、集中的に支援を実施する。

▽南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震・津波や頻発する風水害・土砂災害に対する総合的な事前防災・減災対策

▽維持修繕に関する省令・告示の規定に基づく定期点検・診断、修繕・更新等のインフラ長寿命化計画を踏まえた老朽化対策

▽歩行空間の確保等通学路における交通安全対策等

◇競争力強化のための社会資本の総合的整備（社会資本整備総合交付金）

民間投資・需要を喚起しつつ、活力ある地域の形成を支援するため、社会資本整備総合交付金により、以下の取組に対して、重点的に支援を実施する。

▽ICアクセス道路の整備等を通じた物流ネットワークの強化

▽工業団地の造成等の民間投資と連携して行われるアクセス道路の整備等を通じた成長基盤の強化

▽地域の拠点として選定された重点「道の駅」の機能強化 等

なお、規模が大きく、複数年にわたって計画的に支援する必要のある事業等において、個別箇所毎に安定的な支援が可能となる仕組みを検討する。

◇踏切道等における対策の推進

鉄道と道路の交差部において、安全かつ円滑な交通を確保するため、道路管理者、鉄道事業者及び地域が協力しつつ、地域の実情に応じた改良や施設の老朽化への対策を行えるよう、必要な措置を講じる。

◇高速道路の料金割引について

現下の経済情勢等を踏まえ、物流コストの低減等に資する取組を推進するため、大口・多頻度割引の最大割引率を40%から50%に拡充する措置等を平成27年度末まで実施しており、この効果を確認し、ETC2.0の活用も含め、措置の必要性について検討する。

《1面より 平成28年度道路関係予算概算要求概要》

◇新しい日本のための優先課題推進枠について

「平成28年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について」（平成27年7月24日閣議了解）に従い、「経済財政運営と改革の基本方針2015」（平成27年6月30日閣議決定）及び「『日本再興戦略』改訂2015」（平成27年6月30日閣議決定）等を踏まえた諸課題について、「新しい日本のための優先課題推進枠」として、以下を要望する。

○道路の老朽化対策要望額：294億円

（※道路の老朽化対策全体の要求額は2,053億円）

道路施設の適切な維持管理と老朽化対策に向けて、橋梁、トンネル等の点検、診断、措置、記録を着実に実施し、メンテナンスサイクルを推進。特に、これまでの点検結果に基づく橋梁・トンネル等の計画的な修繕を強力に推進。

○道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保要望額：2,217億円

（※道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保全体の要求額は4,283億円）

個性ある地域やコンパクトな拠点を道路ネットワークでつなぎ、距離の制約を克服し、地域・拠点の連携を確保。特に、計画的な整備のため事業進捗を図る必要のある事業を強力に推進。

○効率的な物流ネットワークの強化要望額：1,716億円

（※効率的な物流ネットワークの強化全体の要求額は3,779億円）

迅速かつ円滑な物流の実現などのため、三大都市圏環状道路等を中心とする根幹的な道路網を重点的に整備。特に、計画的な整備のため事業進捗を図る必要のある事業を強力に推進。

（参考）「平成28年度予算の概算要求に当たっての基本的な方針について」(H27.7.24閣議了解)より

(6)新しい日本のための優先課題推進枠

平成28年度予算においては、予算の重点化を進めるため、「公的サービスの産業化」、「インセンティブ改革」、「公共サービスのイノベーション」を中期的に進めていくことを含む「経済財政運営と改革の基本方針2015」（平成27年6月30日閣議決定）及び「『日本再興戦略』改訂2015」（平成27年6月30日閣議決定）等を踏まえた諸課題について、「新しい日本のための優先課題推進枠」を措置する。

このため、各省大臣は、(1)ないし(5)※とは別途、要望基礎額に100分の30を乗じた額の範囲内で要望を行うことができる。

※(1)年金・医療等、(2)地方交付税交付金等、(3)義務的経費、(4)東日本大震災からの復興対策、(5)その他の経費（(1)から(4)に掲げる経費を除く経費については、前年度当初予算の100分の90を乗じた額（要望基礎額）の範囲内で要求する）

◇地域における総合的な事前防災・減災対策、老朽化対策、生活空間の安全確保に対する集中的支援（防災・安全交付金）

国民の命と暮らしを守るインフラ再構築、生活空間の安全確保に資する事業

全国的高速道路の主な区間の期間中交通量

	H27実績（①）	H26実績（②）	対比①／②
日平均交通量	48,400台／日	46,900台／日	103%
最大日交通量	57,000台／日	56,200台／日	101%

渋滞回数（10km以上の渋滞回数は、30km以上の渋滞回数を含む）

	H27実績（①）	H26実績（①）	対比①－②
10km以上の渋滞	443回	437回	＋6回
内30km以上の渋滞	28回	27回	＋1回

《各社の特に長い渋滞発生箇所》

会社区分	上下線	道路名	渋滞発生箇所	渋滞日時（ピーク）	渋滞延長	渋滞原因
東日本	下り線	関越道	花園IC付近	8月13日（木）8時10分頃	47.1km	交通集中及び事故
	上り線	関越道	鶴ヶ島IC付近	8月14日（金）19時25分頃	49.0km	交通集中及び事故
中日本	下り線	中央道	藤野PA付近	8月8日（土）10時35分頃	47.9km	交通集中及び事故
	上り線	東名高速	大和TN付近	8月9日（日）18時05分頃	35.7km	交通集中
西日本・本四	下り線	中国道	宝塚東TN付近	8月8日（土）7時50分頃	33.1km	交通集中及び事故
	上り線	九州道	広川IC付近	8月15日（土）18時05分頃	31.4km	交通集中及び事故

全国の国道の主な区間の期間中交通量

	H27実績（①）	H26実績（②）	対比①／②
日平均交通量	31,400台／日	30,600台／日	103%

観光地周辺の国道の主な区間の期間中交通量

	H27実績（①）	H26実績（②）	対比①／②
日平均交通量	26,100台／日	24,900台／日	105%

平成27年8月6日（木）～平成27年8月16日（日）：11日間
※比較対象は平成26年8月7日（木）～平成26年8月17日（日）：11日間

お盆における高速道路・国道の交通状況（速報）